

作成日 2016年03月04日

改訂日 -

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

製品名： オルガフィックス CL-1X
 会社名： オルガノ株式会社
 住所： 東京都江東区新砂 1-2-8
 担当部門： 機能商品事業部
 電話番号： 03-5635-5214
 FAX 番号： 03-3699-7244
 推奨用途及び使用上の制限： 重金属捕集剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

	爆発物	-
	可燃性又は引火性ガス (化学的に不安定なガスを含む)	-
	エアゾール	-
	支燃性又は酸化性ガス	-
	高压ガス	-
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	-
	自己反応性化学品	-
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	-
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
	酸化性液体	-
	酸化性固体	-
	有機過氧化物	-
	金属腐食性化学品	-
	爆発物	-
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分 4
	急性毒性（経皮）	-
	急性毒性（吸入：ガス）	-
	急性毒性（吸入：蒸気）	-
	急性毒性（吸入：粉じん）	-
	急性毒性（吸入：ミスト）	-
	皮膚腐食性及び刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷 又は眼刺激性	区分 1
	呼吸器感作性	-
	皮膚感作性	-
	生殖細胞変異原性	-
	発がん性	-
	生殖毒性	-
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	-
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	-
	吸引性呼吸器有害性	-

環境に対する有害性： 水生環境有害性（急性） -
水生環境有害性（長期間） -
オゾン層への有害性 -

* 上記の「 - 」は分類対象外又は分類できないことを示す。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

- ・ 飲み込むと有害
- ・ 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷

注意書き： 【安全対策】

- ・ 使用前に安全データシート(SDS)を入手し、全ての安全注意を理解するまで取り扱わないこと。
- ・ ミストの吸入をしないこと。
- ・ 保護手袋(ゴム製) / 保護眼鏡(密閉式) / 保護面を着用すること。
- ・ 取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・ この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・ 換気が不十分な場合は適切な呼吸器用保護具を着用する。
- ・ 皮膚及び身体の一部の保護具を着用すること。(ゴム製保護衣、ゴム製保護長靴)

【応急措置】

- ・ 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師の診断を受けること。
- ・ 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 眼に入った場合：直ちに水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 皮膚や衣服に付着した場合：直ちに汚染された衣服をすべて脱ぎ、皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
- ・ 火災の場合には適切な消火方法をとること。
- ・ 漏出物は回収すること。
- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合、異常がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
- ・ 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には十分洗濯をすること。

【保管】

- ・ 施錠可能であれば、施錠して保管すること。
- ・ 直射日光を避け、換気の良い、-10 以上の場所で保管すること。

【廃棄】

- ・ 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【その他】

- ・ 目的用途以外に使用しないでください。

GHS分類に該当しない
他の危険有害性

：酸や酸性物質との接触、或いは過熱によって分解し、有害な二硫化炭素、硫化水素を発生するおそれがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物
 化学名又は一般名 等 : 有機窒素硫黄系化合物等の水溶液

濃度又は濃度範囲

成分名(別名)	略称	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
有機窒素硫黄系化合物	-	30～40	非公開	非公開	非公開
水	-	55～68	該当しない	該当しない	7732-18-5
その他	-	2～5%	非公開	非公開	非公開

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 呼吸が止まっている場合は、衣類を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。
 直ちに医療措置を受ける手配をする。

皮膚に付着した場合 : 直ちに大量の水で洗い流して付着した製品を完全に洗い流し、医師の診断を受ける。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと皮膚障害を生ずるおそれがある。

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分間以上注意深く目を洗い、医師の診断を受けること。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水がよくいきわたるように洗浄する。
 コンタクトレンズ使用の場合、固着していない限り取り除いて洗浄する。
 この製品が目に入った場合、一刻も早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと不可逆な目の障害を生ずるおそれがある。

飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、医師の診断を受けること。
 無理に吐かせないこと。
 嘔吐が起こる場合は、気管に入らないよう体を傾ける(頭を横にする)等注意する。

最も重要な徴候及び症状
 応急措置をする者の保護 : 特になし
 ゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
 汚染された衣類や保護具を取り除く。有害物に触れないよう手袋を着用するなど注意する。

医師に対する
 特別な注意事項 : 特になし

5. 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
 本製品自体は燃焼しない。

使ってはならない
 消火剤 : 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災時の特有の危険
 有害性 : 加熱によって分解し、有害な二硫化炭素、硫化水素を発生するおそれがあるため、注意する。製品乾燥物に着火した場合には、SO_x、NO_x等の有害ガスが発生する可能性があるため、注意する。

特有の消火方法 : 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
 移動不可能な場合には容器および周囲に散水して冷却する。
 有害なガスを吸い込まないように消火作業は可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護 : 消火活動では、耐熱性手袋、密閉ゴーグル、有機ガス用防毒マスクを着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出場所周辺は関係者以外の立ち入りを禁止する。
本製品は強アルカリ性なので、注意して作業を行う。
- 保護具及び緊急時措置 : 適切な保護具を着用し、飛沫等の皮膚付着やガス吸入を防止する。「8. 暴露防止及び保護措置」を参照のこと。
- 環境に対する注意事項 : 漏出した製品が直接河川等環境中に排出されないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 少量の場合は乾燥砂、土、オガクズ、ウエス等に吸収させて、密封できる空容器に回収する。
大量の場合は盛り土等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
酸や酸性物質との混合で分解し、有害な二硫化炭素、硫化水素を発生するおそれがあるため、中和してはならない。
- 二次被害の防止策 : 特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用し、眼、皮膚、衣類に付着させない。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりにミストを発生させない。
容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の乱暴な取扱をしてはならない。
冷却すると凝固するので、冬季には温度降下に注意する。
- 局所排気・全体換気 : 取り扱う場合は、局所排気内または全体換気の設備のある場所で取り扱う。
- 注意事項 : 特になし
- 安全取扱い注意事項 : 酸や酸性物質との混合で分解し、有害な二硫化炭素、硫化水素を発生するおそれがあるため、酸性の製品との接触を避ける。

保管

- 技術的対策 : 日光から遮断すること。
換気の良い場所で容器を密閉し保管すること。
- 適切な保管条件 : 施錠可能であれば、施錠して保管すること。
酸や酸性物質との混合で分解し、有害な二硫化炭素、硫化水素を発生するおそれがあるため、酸性の製品とは同一場所に保管しない。
直射日光を避け、換気の良い-10 以上の場所で保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 常温の保管にはポリエチレン、塩化ビニル、ステンレス或いはゴムライニングされた容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取り扱い場所は換気を良くする。
作業場近くに安全シャワー、手洗・洗眼設備を設け、位置を明示する。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 設定されていない
- 保護具 : 呼吸器用の保護具 : 有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器
手の保護具 : ゴム製保護手袋
目の保護具 : 密閉ゴーグル
皮膚及び身体の保護具 : ゴム製保護衣。ゴム製保護長靴
- 適切な衛生対策 : 作業後に手を良く洗い、うがいをする。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 淡黄色～橙色液体
臭い	: 無臭～わずかなアンモニア臭
pH	: 13.5以上(25)
融点/凝固点	: <-10
沸点	: データなし
初留点	: データなし
沸騰範囲	: データなし
引火点	: 不燃性
自然発火温度(発火点)	: データなし
燃焼又は爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重	: 1.2～1.3(25)
溶解性	: 水に易溶
オクタノール /水分分配係数	: データなし
分解温度	: 350 (主成分の分解温度)
その他のデータ	: 粘度: <10mPa・s(25)

10. 安定性及び反応性

安定性	: 保管の項目記載の保管条件で安定。
危険有害反応可能性	: 通常の保管・取扱条件で安定。 酸や酸性物質との接触あるいは過熱によって分解し、有害な二硫化炭素、硫化水素を発生するおそれがある。
避けるべき条件	: 酸や酸性物質との接触・混合、直射日光、高温体との接触を避ける。凝固を防ぐため、-10 未満になるような冷却を避ける。
混触危険物質	: 酸や酸性物質
危険有害な分解生成物	: 二硫化炭素、硫化水素

11. 有害性情報

急性毒性	: 製品 1000～2000mg/kg 経口ラット(LD50)
皮膚腐食性/刺激性	: 製品 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
眼に対する重篤な 損傷/眼刺激性	: 製品 重篤な眼の損傷
呼吸器感作性 又は皮膚感作性	: 知見なし
生殖細胞変異原性 (変異源性)	: 製品 陰性 微生物を用いる変異原性試験
発がん性	: 知見なし
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	: 知見なし
特定標的臓器毒性 - 反復暴露	: 知見なし
吸引力呼吸器有害性	: 知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性	: 魚類 データなし 甲殻類 データなし 藻類 データなし
残留性/分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
他の有害影響	: 知見のない項目が多いので、一般環境内への廃棄は行わない。

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄物処理法を遵守し都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。
 特別管理産業廃棄物に指定されているため、収集・運搬・処分については定められた基準に従う。
 酸や酸性物質との混合で分解し、有害な二硫化炭素、硫化水素を発生するおそれがあるため、中和してはならない。
- 汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処理する。汚染容器の廃棄を委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者に委託処理する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制 : 以下の通り
 国連分類 : クラス 8 (腐食性物質)
 国連番号 : 1760 (腐食性液体 n.o.s)
 国内規制 : 適用法令を参照
 輸送の特定の安全対策及び条件 : 運搬に際しては容器に破損や腐食漏れが無い事を確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。
 酸や酸性物質との混載を避ける。
 当該法規に従い、放送、表示、輸送を行う。
 車両による運搬時は、運転者に必ずイエローカードを携帯させる。
- 緊急時応急措置指針番号 : 指針番号 154 (毒性物質 / 腐食性物質 (不燃性))

15. 適用法令

- 毒劇法 : 非該当
 消防法 : 非該当
 化管法 (PRTR 法) : 非該当
 労安法 : 表示物質 : 非該当
 通知物質 : 非該当
 航空法 : 第 194 条危険物 告示 別表第 1 腐食性物質
 危規則 : 第 2, 3 条危険物 告示 別表第 1 腐しよく性物質
 港則法 : 第 12 条危険物 告示 腐しよく性物質
 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 : 特別管理産業廃棄物
 化審法 : 第 2 条第 5 項 優先評価化学物質

16. その他の情報

- ・本データシートは、製品の安全な取扱いのための情報として、現時点で入手できる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性や完全性を保証するものではありません。
- ・本データシートは、新たな知見に基づき改訂されることがあります。
- ・本データシートは、本製品用途における通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いの場合は用途・用法に則した安全対策を実施してください。
 重要な決定等にご利用される場合は、文献等をよく検討されるか、試験により確かめられることをお薦めします。
- ・本データシートは日本国内向けに作成したものです。
 日本以外で使用する場合は、その国での法律・規制等を確認してください。